

# 那覇市議会——離島の救急空輸活動など、住民の生命を守る活動に深甚なる敬意と感謝を表す決議を採択

## 本土復帰50年に際し、市民・県民の生命を守る任務遂行に対する感謝決議

戦後 27 年の米国統治を経て沖縄県が本土復帰をして、本年は 50 年の節目を迎える。多くの離島を抱える島しょ県の沖縄は、これまで「島チャビ（離島苦）」に挑戦しながら振興発展の歩みを進めてきた。復帰とともに配備された自衛隊は、本来任務ではなかった緊急患者空輸を昭和 47 年、粟国島を皮切りに開始し、本市消防局や医療機関と連携しながら、本年 4 月 6 日に南大東島の緊急患者空輸をもって搬送数が総計 1 万件を超えるに至った。

その他にも災害派遣として市内外における不発弾処理や、行方不明漁船等の捜索など市民・県民の生命を守る活動を継続して行っている。

また、海上保安庁も同様に本土復帰以来、3 千百件余の離島患者空輸や漁船等からの救助をおこなっているほか、ドクターヘリも同様な任務を行い、この復帰 50 年には様々な行政機関や医療機関などの連携と協力があり市民・県民の生命と財産が守られてきた。

よって本議会は本土復帰 50 年に際し、関係機関並びに関係各位における市民・県民の生命を守る任務遂行に対して、深甚なる敬意と感謝の意を表すものである。

以上、決議する。

令和 4 年（2022 年）4 月 25 日 那覇市議会

※決議のあて先はありません。

採決結果：賛成 20、反対 2、退場（態度表明しない）15、欠席 2

### ◆日本共産党那覇市議団の賛成理由

日本共産党市議団が決議へ賛成した理由は、決議にあるように、「この復帰 50 年には様々な行政機関や医療機関などの連携と協力があり市民・県民の生命と財産が守られてきた。」ことに鑑み、自衛隊、海上保安庁、ドクターヘリ、消防局、医療などの機関と関係者に対して、「本土復帰 50 年に際し、関係機関並びに関係各位における市民・県民の生命を守る任務遂行に対して、深甚なる敬意と感謝の意を表すものである。」との立場からです。

日本共産党は、憲法違反の自衛隊は、国民の合意を得て段階的に解消をすすめるとの考えです。自衛隊問題など、党への様々な疑問に対しては、党発行「はてな－リーフ」で答えています。日本共産党の事務所にあります。日本共産党ホームページでもご覧できます。ぜひご一読ください。

日本共産党は、個々の自衛隊員のみなさんが、「日本を守りたい」という思いからこの職業を選び、災害救助などで汗を流していることに対して、敬意の気持ちをもっています。

自衛隊の住民の人命を守る災害救助活動（救急空輸）については評価する立場です。災害救助活動（救急空輸）によって、県民をはじめ、多くの国民の尊い人命が救われています。

沖縄県内には、37 の有人離島があり、県内離島自治体で構成する「沖縄県離島振興協議会」は、救急空輸に関し、自衛隊、海上保安庁、医療機関、那覇消防局などに感謝状を贈呈し、謝恩会も開催しています。今回の決議は、離島住民の思いにも応えたものとして賛成いたしました。

※沖縄県は、東西約 1,000 km、南北約 400 km に及ぶ海域に 160 の島々が点在する広大な海洋島しょ圏であり、その海域の範囲は本州の 3 分の 2 に匹敵する。このような広大な海域には沖縄本島以外に沖縄振興特別措置法で指定されている離島が 54 島存在し、そのうちの 37 島が有人離島です。

### 日本共産党那覇市議団ニュース 第 3 号

発行：日本共産党那覇市議団 那覇市泉崎 1-1-1 市役所 4 階 電話：862-8268 FAX 867-3170  
コロナ問題など、お困りごとは、お気軽にご相談ください。メール：jcp-naha@nirai.ne.jp